

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和5年6月12日(2023.6.12)

【国際公開番号】WO2022/065219
 【出願番号】特願2022-551947(P2022-551947)
 【国際特許分類】
 G 0 6 Q 5 0 / 2 6 (2 0 1 2 . 0 1)
 【 F I 】
 G 0 6 Q 5 0 / 2 6

10

【手続補正書】
 【提出日】令和5年4月28日(2023.4.28)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0051
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0051】

被害判定結果入力部26は、被害判定結果を確定させる指示の入力を受け付ける入力処理モジュールである。被害判定結果を確定させる指示は、暫定の被害判定結果を承認する旨の情報を入力してもよいし、登録内容として確定させる被害判定結果を直接入力してもよい。具体的な入力操作の方法は、例えば、チェックボックスにチェックを入れる方法であってよいし、候補リストの中から特定の被害判定結果を選択させる方法であってよく、あるいはキーボードなどから被害判定結果のテキスト情報を入力する方法であってよい。

20

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0066
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0066】

これにより、調査員は、入力した暫定の被害判定結果に隣接する区分の被害判定結果に対応する被災画像を携帯端末装置20Aの画面上で確認することができる。調査員は携帯端末装置20Aに表示された判定結果と被災建物の被災画像群の対から、調査対象建物の被害程度と同様の被害程度の画像が含まれている判定結果を選択し、対象建物の判定結果を決定し得る。

30

【手続補正3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0116
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0116】

図7に示す表示画面51の第1の画像表示エリア54は、被害程度の区分を指定する被害程度指定ボックス70とプルダウンボタン72とを含む。被害程度指定ボックス70およびプルダウンボタン72は、被害判定結果入力ボックス52およびプルダウンボタン72と同様であってよい。被害判定結果入力ボックス52の入力内容が被害程度指定ボックス70の初期の入力内容として自動的に反映される。そのため、被害判定結果入力ボックス52において暫定の被害判定結果(例えば「半壊」)を入力すると、第1の画像表示エリア54には、入力された暫定の被害判定結果に対応する被災画像の例が表示される。そ

40

50

の後、ユーザは、プルダウンボタン 7 2 から所望の被害程度の区分を選択することにより、選択に係る被害判定結果の被災画像を第 1 の画像表示エリア 5 4 に表示させることが可能である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 1】

一覧 T には、被害判定結果の予測値として、「全壊」、「大規模半壊」、「半壊」、「準半壊」および「準半壊に至らない」のそれぞれの確率値が提示される。ここでは、全壊の確率値が 0 %、大規模半壊の確率値が 0 %、半壊の確率値が 5 %、準半壊の確率値が 9 4 %、準半壊に至らないの確率値が 1 % である。このように、それぞれの被害判定結果の確率値を提示することで、2 次調査申請に対する住民の判断の余地を残すことができる。

10

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 2】

また、画像表示エリア 8 4 には、AI による推定結果が示す確率値が最も高い被害判定結果と同程度の被害と判定された家屋の画像の例が表示される。ここでは、一覧 T において「準半壊」の確率値が最も高いため、同程度の被害と判定された家屋として、過去の災害で「準半壊」と判定された家屋の画像 G 2、画像 G 3 および画像 G 4 が表示されている。画像表示エリア 8 4 に表示される画像は、被災画像データベース 1 5 から抽出された画像であってよい。このように、対象建物と同程度の被害と判定された家屋の画像の例を推定結果と共に表示させることにより、AI の推定結果に対する住民の納得感を高めることが期待される。

20

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 5】

《各処理部のハードウェア構成について》

図 1 で説明した暫定被害判定結果入力部 1 2、画像検索部 1 4、被害判定結果登録部 1 6、画像表示部 2 4 および被害判定結果入力部 2 6 などの各種の処理を実行する処理部 (processing unit) のハードウェア的な構造は、例えば、次に示すような各種のプロセッサ (processor) である。

30

【手続補正 7】

【補正対象書類名】図面

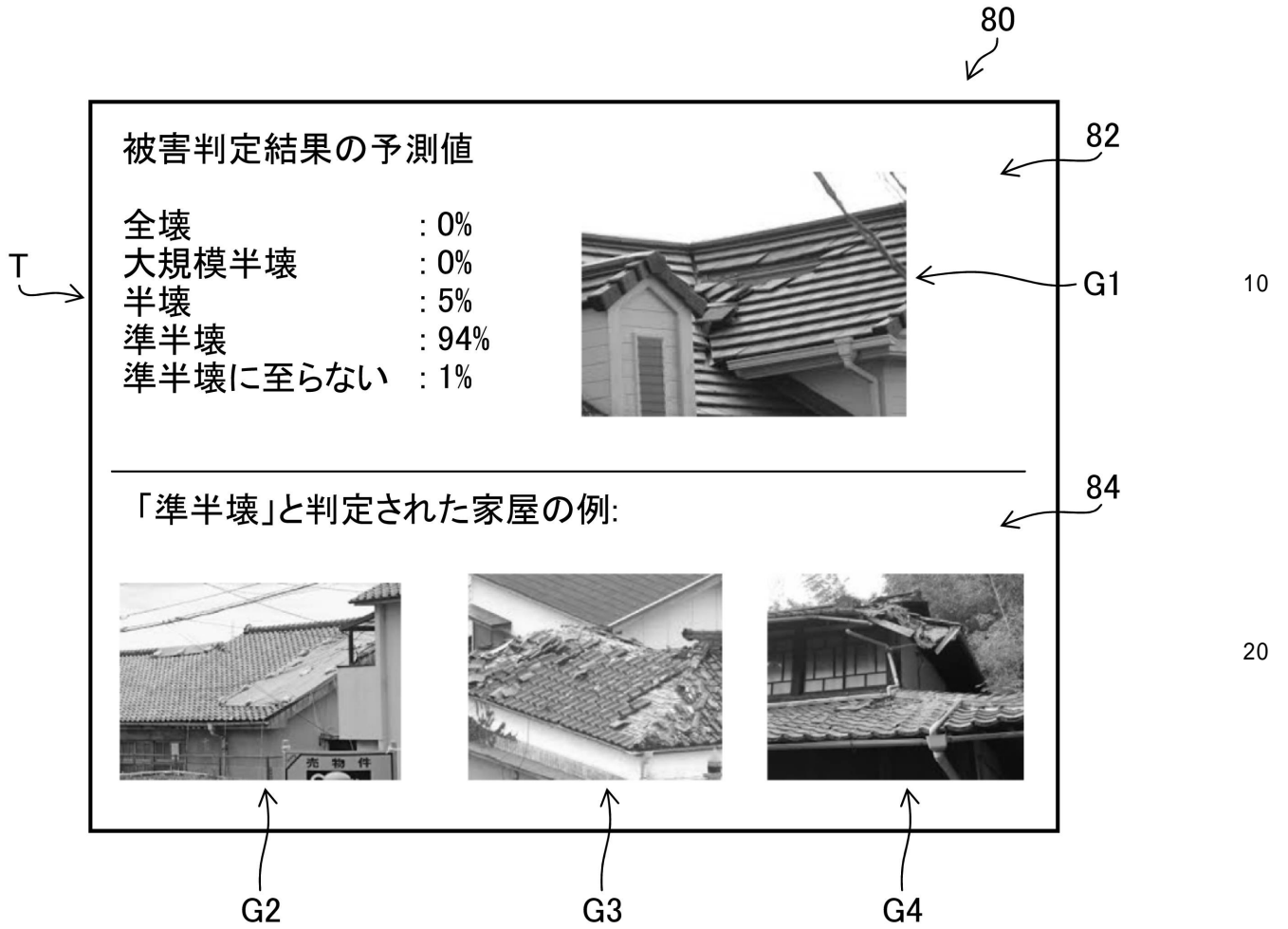
【補正対象項目名】図 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【 図 8 】



10

20

30

40

50